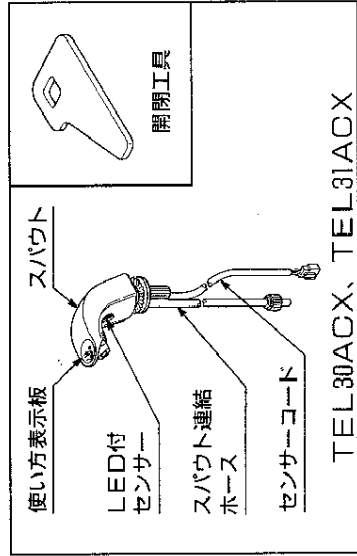


# 湯ぼっとオート(スパウト部)取付説明書

## 仕 様



TEL30ACX、TEL31ACX

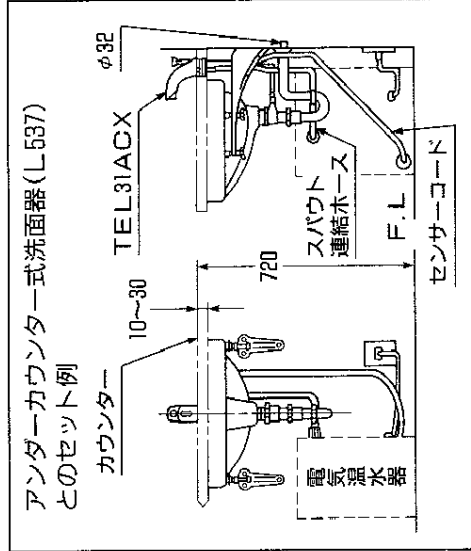
周囲使用温度範囲	0℃～55℃
周囲使用湿度範囲	90%RH以下
感知距離	自動設定

## 取 付 け 前 に

1. センサー面を傷つけない様十分ご注意ください。
2. スパウトを陶器に固定しセンサーコネクタを電気温水器内で接続した後、電源プラグを差し込んでください。電源プラグを差し込んでから約20秒間は、感知レベルを自動調整しますのでその間は、センサーに手をかざしたり陶器内に物を置かないでください。また陶器面は、かるくふくなどしておいてください。
3. 電気温水器の電源スイッチは、タンク給水が完了するまで「切」のままにしておいてください。「切」のままでもセンサーは作動します。

## 完 成 図(例)

(例) L537+TEL31ACXの場合



## 取付完了後の確認

- 取付けが完了した後、次の方法で確認を行ってください。
1. 設置後、電気温水器の電源プラグをコンセントへ差込んでください。
  - 注1. この時止水栓は閉めておいてください。
  - 注2. 電気温水器の電源スイッチはタンク給水が完了するまで「切」のままにしておいてください。
  2. スパウト部のLED付センサーを見て、LEDが点滅していないことを確認ください。もしも点滅していればスパウトの向きを少しかえて、

点滅しないところで再固定してください。(この間、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。)

3. 手洗器・洗面器の種類によっては、LED付センサーのLED点滅が消えない事がありますが、その場合は、そのまま設置します。(約10分後にLED点滅は消え、その後は正常に作動します。)
- なお、10分以内に作業が終わらない場合は、以上の操作(1~3)をやりなおしてください。
4. 止水栓を開いて給水してください。
- 給水方法については、湯ぼっとオート(電気温水器部)取付説明書をご覧ください。
5. スパウトの吐水口に手を近づけると水が出て、手を離すと約1~2秒遅れて水が止まることを確認してください。
6. 何らかの原因で約4分間連続して感知すると自動的に止水します。このような場合は、次のことを確認してください。

- センサー面が汚れていないか。
- スパウト部の取付位置が適切か。
- 洗面器内に物が置かれていないか。

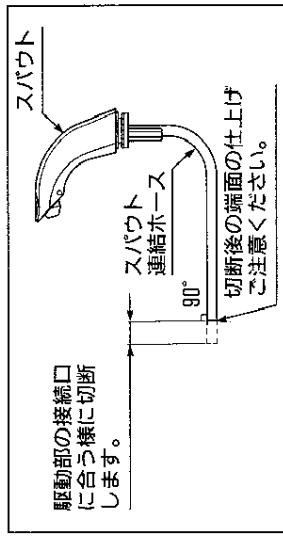
※1~6は「湯ぼっとオート(電気温水器部)」と組合わせた場合の内容です。

## お 手 入 れ

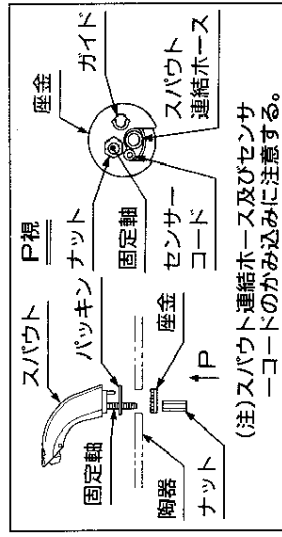
器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。なお、お手入れ方法は“ご愛用のしおり”をご覧ください。

## 器具の取付け

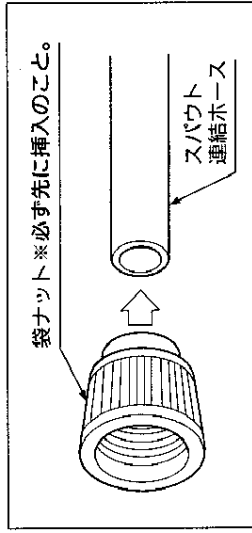
① スパウトを洗面器に仮固定し、スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に合うように適当な長さに切断します。  
このときカッター等を用い、切断面は、垂直にかつ確実に行ってください。



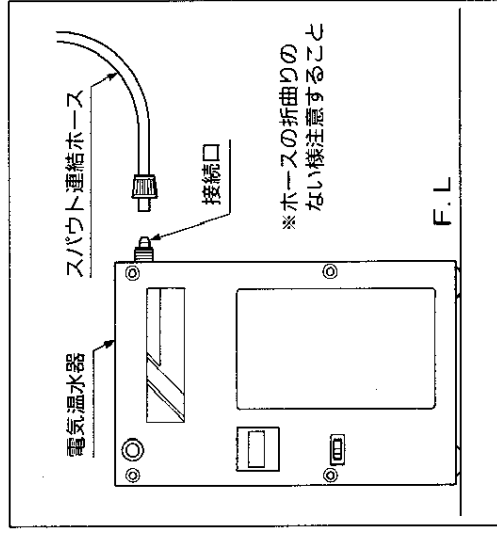
② スパウト部取付下部から、座金をスパウト連結ホースとセンサーコードのかみ込みに注意して取付けます。  
座金を止めるナットは、スパウトがゆるまないよう、確実に締付けてください。



③ スパウト連結ホースに端面から、袋ナットを通します。

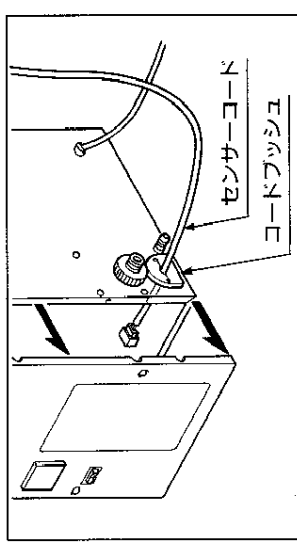


④ スパウト連結ホースを電気温水器の接続口に差込んだ後、袋ナットを締付けます。締付けは手締めにて行ってください。



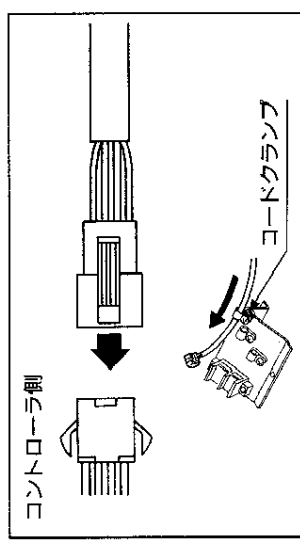
⑤ センサーコードを接続します。  
(詳細は湯ぼつとオート(電気温水器部)取付説明書を参照)

① 電気温水器の前面パネルを取外し、右面側のコードブッシュにセンサーコードを通します。



② 電気温水器内にあるコントローラからでているコネクタ(5P)とセンサーコードを接続します。(ロックがかかるのを確認してください。)

③ センサーコードをコードクランプに固定します。



## 器具の取付け

④スパウトを陶器に本固定します。

(注)スパウトを固定する際は、必ず陶器のボール面中心に向けてください。

陶器品番	$\alpha(^{\circ})$	陶器品番	$\alpha(^{\circ})$	陶器番号
・L 5 B・D ・L 34	約40°	・L 230S・DS ・L 331RA	約60°	・L 7 ・L 8 ・L 330RC ・L 332C ・L S510RC ・L 517 ・L 525C ・L 537 ・L 546 ・L 548 ・L 581C ・L 582C ・L 832 ・L S850C ・L 851C
	〃		約70°	
		・L 103A ・L 220S・DS ・L 221・D ・L 237・D ・L 507	〃 〃 〃 〃 〃	

①電気温水器の電源プラグをコンセントに差込みます。

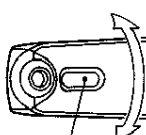
※電気温水器の取付けは「湯ぼっこオート(電気温水器部)」取付説明書を参照してください。

※電気温水器の電源スイッチは、タンク給水が完了するまで「切」のままにしておいてください。

●電源プラグを差込むと、直ちに感知距離を自動設定しますので、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(約20秒間でこの動作は完了します。)

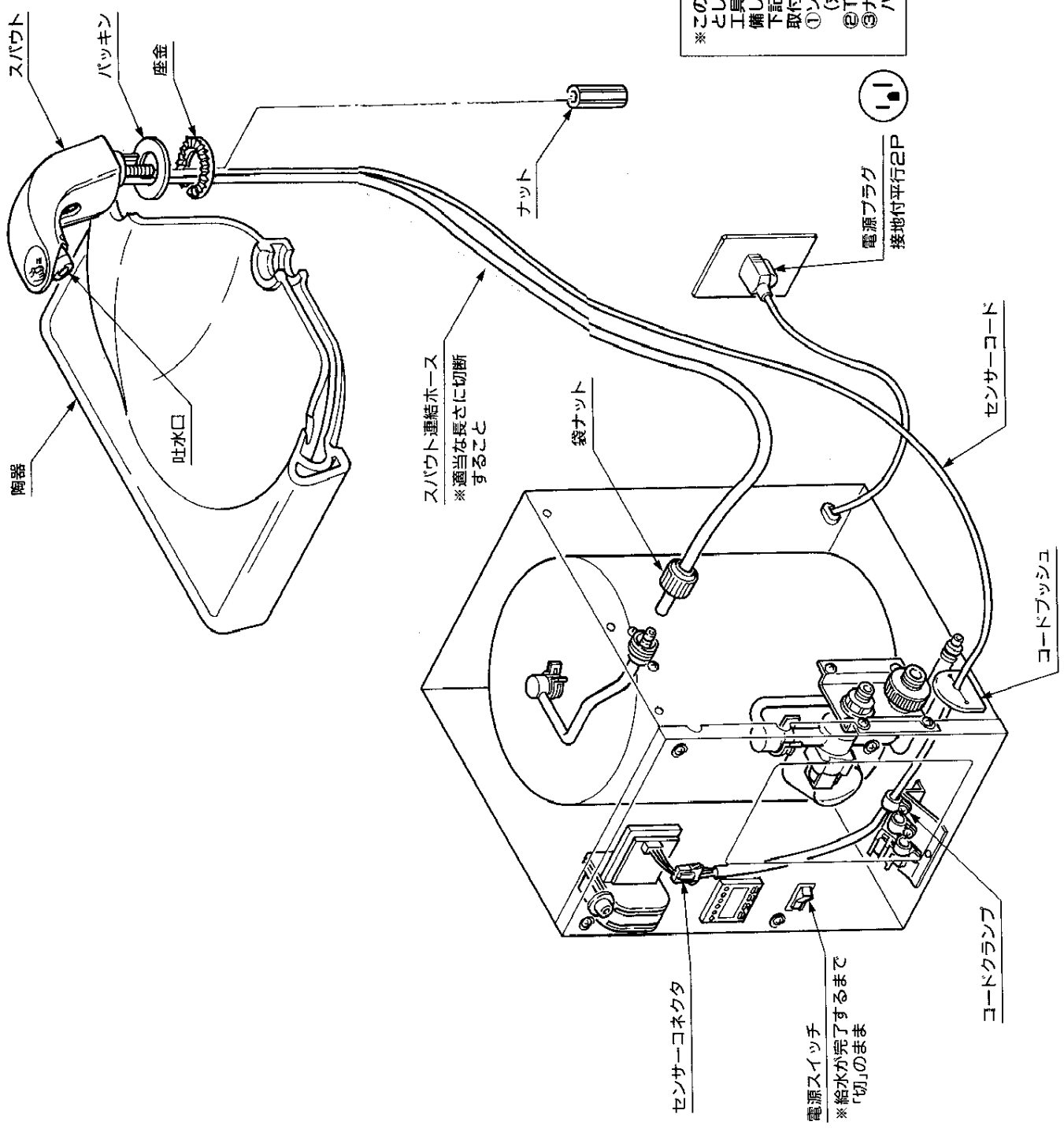
●電源プラグを差込んでから約10分間は、感知しても点滅しますが、故障ではありません。(約10分後、LEDの点滅は消えます。)

センサー内 LED



※電源プラグを差込んでから、約20秒間は、陶器内に物をいれないでください。  
 ※陶器によって点滅が消えない場合がありますが、故障ではありません。(約10分後、LED点滅は消え、正常に作動します。)

(点滅していれば少しずらして消えたところで固定する。)



※このナットの締付用として別売で、専用工具(TZ40L)を準備しておりますが、下記の一般工具でも取付け可能です。  
 ①ソケットレンチ (対応13mm用)  
 ②T型レンチ(同上)  
 ③ナットドライバー(同上)

スバウト連結ホース  
 ※適当な長さに切断すること

電源プラグ  
 接地付平行2P

電源スイッチ  
 ※給水が完了するまで「切」のまま

センサーコネクタ

コードランプ

コードブッシュ

センサーコード

袋ナット

ナット